

# こすもす



平成31年2月19日  
上田市立城下小学校

## 挨拶は世の中を変える

《校長講話（2月8日）より》

今朝は「皆さんが住んでいる長野県って、こんなステキなところですよ」というお話をします。

次の数字を見てください。

「長野県 三年連続全国1位 58.6%」

「全国平均 8.6%」

どんな数字だと思いますか？この数字は、「信号のない横断歩道で、歩行者が渡ろうとした時、車が一時停止する割合」です。もちろん、横断歩道で一時停止をするのは、当然のことなのですが、それにしても、全国では、100人いて、9人くらいしかしていないことを、長野県のドライバーは、100人いると、59人もの人が、きちんと止まっているという事実は、長野県の人たちのマナーの良さがあらわれています。

横断歩道で一時停止するマナーの良い理由として、いくつかのことが言われています。

- ① 長野県では「見守りボランティア」など、ボランティア活動が盛んであること。誰かのために尽くす、そんな気持ちを長野県の人には持っている。そんな気持ちが車の運転にも表れている、そんなことも言われています。
- ② 二番目は、手を挙げて横断歩道を渡った小学生や中学生が、一時停止した車に、ペこりとお辞儀する姿が、長野県ではよく見られています。一時停止した車のドライバーも、その姿をうれしく思い、今度もちゃんと止まろうとする気持ちが高まるのでしょうか。

長野県では、小学生の「あいさつ」が、大人の行動を変えています。

このように「あいさつは、世の中を変えていきます」

三学期になって、先生方のお話や、児童会の取組で、きちんと挨拶できる人が増えてきました。中には、頭をきちんと下げて挨拶できる人、もっと素晴らしいのは、その場で一度立ち止まって挨拶する人、そんな人が増えてきました。

「頭を下げて挨拶する、一度その場で立ち止まって挨拶する」のは、大人では当たり前ですが、小学生ではなかなか難しいことです。でも、城下小学校の皆さんに、このようなレベルの高いあいさつができる人が増えてきて、大変うれしいです。

では「おはようございます」には、どんな意味があるのでしょうか？「おはようございます」には、「今日も、早くから活動を始めたあなたに出会えてうれしい」と意味があります。「こんにちは」には、「今日のあなたの一日がいい日になるといいですね」という、相手の幸せを願う気持ちが込められています。

このように、挨拶には「周りの人の幸せを祈り、周りの人に自分の心を開く」そんな意味があります。



インフルエンザ流行のためテレビ放送での講話

城下小学校で挨拶が盛んになってきました。ますますレベルの高い挨拶を全校の当たり前にして、「城下小学校」をもっとよりよい学校に変えていきましょう。長野県の子どもの挨拶が、長野県の交通マナーを変えたように、皆さんの挨拶が城下小学校を、よりよい学校に変えていきます。

## 1年間のまとめ&次年度に向けての準備が進んでいます。



合唱部「ミニコンサート」 金管クラブ「ファイナルコンサート」

児童会長選挙が行われました。インフルエンザの流行のため、立会演説会は体育館で実施できずテレビ放送となりましたが、初めて選挙に参加する3年生も真剣に候補者の演説に耳を傾けていました。次年度の取組に向けてどれだけの意気込みがあるのか、聞き比べて候補を絞っていたようです。正副児童会長が決まり、委員会の正副委員長も決まり、6年生から5年生へと引継ぎが行われました。



児童会選挙



授業公開（職員研修）

保護者アンケートの結果でもお伝えしたように、城下小学校では、職員が学年会や研究会で学習指導について考える時間をとっています。職員間での授業公開も適宜行い、2月までに全職員が実施することができました。



まほうのランプ

本読みサークル「まほうのランプ」のみなさんには、2月の最終日、1～6年生まで全学級での本読みをしていただきました。短い時間ですが、子どもたちにとってはとても楽しい時間です。ご協力に感謝です。

※インフルエンザ流行中は急な学級閉鎖、早い下校等の対応にご協力いただきありがとうございました。ピークは過ぎましたが、引き続き予防をお願いします。

※過日、学校評議員・PTA三役のみなさんの参加による、学校関係者評価会議を実施し、学校に寄せる願いやご意見をいただくことができました。関係者評価については3月にHPに掲載予定です。  
(文責 鹿取ちか)